

問う

代表・一般質問
一般質問を平成24年9月21日、24日、25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考え方を尋ねました。

以下、その一部を掲載します。

更なる行政改革を断行し安心して暮らせる街つくりを

自由民主党 鹿 浜 昭 議員



スポーツと健康づくり施策の充実を図れ

自由民主党 鈴木 進 議員



足立区議会自由民主党

代表・一般質問

議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考え方を尋ねました。

職員定数のさらなる削減方法は

【問】これまで技能労務系職員の退職不補充等で、職員定数を削減し、区民サービスに必要な財源を生み出してきたが、今後、どのような方策で定数を削減し、人件費を圧縮していくのか。

また、区が全国の自治体に呼びかけ発足した「日本公私サービス研究会」で、外部化の対象としている業務は、どのような分野なのか。さらに、検討あたり、想定している課題は何か。

【政策経営】引き続き、指定管理者制度等の官民協働によるサービス供給の推進等を継続する一方、新たな外部化手法導入を検討し、実現可能なものから実施し、適正化を図っていく。

新たな外部化では、戸籍・税、国民健康保険等、専門性は高い

が定型的な行政特有の業務について、聖域を設けることなく対象としていく。課題は、公共サービスの提供に必要なノウハウやスキルを確実に民間に移転させること等がある。

町会・自治会に防火備蓄物資を常設し、加入率アップを図れ

【問】町会や自治会の会館等に災害時の備蓄物資が備わっていること等がある。

れば、いざという時に、心強い支援策を検討していく。

つと思う。備蓄物資を常設して



中小企業支援のために利子補給事業継続を

【問】区は、東京商工会議所が

行っている、国の公的融資であ

る小規模事業者経営改善資金金融

制度の利子補給の見直しを進

めていていると聞く。我が党は、来

年度以降もこの制度の継続を要

望しているが、今後の対応はどう

いに考えていくのか。

【産業経済】東京商工会議所足

立支部とともに事務処理の改善

を図りながら、小規模事業者の

方々の円滑な資金調達を支援す

る有効な手段と位置づけ、現在



家庭訪問を全校で実施せよ

【問】家庭訪問は、小学校で約

半分、中学校で約1/3の実施と聞

いているが、家庭訪問してみな

いとわからないことが多いあ

る。重要性を再認識し、実行す

べきと考えるがどうか。

【教委長】家庭の学習環境を正

確に把握することは、学力格差

を解消するためにも重要である

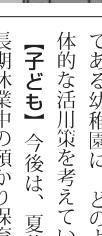
と考える。区教委として、校長

の助成を継続していく。

【問】区でも超高齢化が進み、

平成30年頃には高齢化率が25%になる予測している。今後も

増え続ける高齢者が地域で元気



待機児童対策における幼稚園の活用策は何か

【問】区は3歳から5歳児の待

機児童対策について、幼稚園資

源の活用を図つて、幼稚園資

源の活用策を考へているのか。

【子ども】今後は、夏休み等、

長期休業中の預かり保育の実施

である幼稚園に、どのような具

体的な活用策を考えているのか。

これまでの方針に変更はないと答

弁しているが、区の重要な財産

である幼稚園に、どのような具

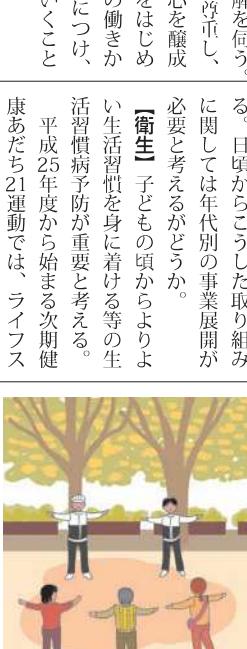
体的な活用策を考へているのか。

【問】過去3年間の不正受給の発生状況と、その主な内容はどう



敷地内禁煙について

自由民主党 しのはら 守宏 議員



スポーツと健康づくり施策に対する区長の考え方を問う

【問】スポーツと健康づくりの

施策を充実していくことは、医

療費の抑制にもつながり、区の

財政負担の軽減にもつながって

いく。このことに対する区長の

見解と財政を健康な状態にして

いる。そのために対する区長の

見解と財政を健康な状態にして

いるための決意として、常にスク

ラップアンドビルドの考え方で、

施設等をプラスシユアップし続

けることが必要と考える。前例

踏襲でよしとせず、すべての職

員が忠告を絞りつつ、汗をかき、



【問】過去3年間の不正受給の発生状況と、その主な内容はどう

いなものか。

【区長】「バーカで筋トレ」等、

気軽にスポーツに親しめる、環

境づくりにポイントがあるとの

考え方のと、今後とも施策を充

実させていく考えでいる。

【区長】「バーカで筋トレ」等、

身近なところでお金をかけて

な対応を考えているのか。

【福祉】比較的元気な時期から健康づくりに取り組めるよう、公園等を活用した介護予防事業の拡充を図つていく。また、生涯学習を通じて健康増進につながるよう、交流サロン等の自主的な健康づくり活動の支援を強化していく。

【問】いじめを予防するために有効なのが、心を育てることをねらいとする道徳の授業である。つまり、「いじめはいやだ」という意識と態度を育てていくことである。このことが友情を深めていくことにつながつていくことをねらいとするが、区教委の見解を伺う。

【教育長】自他の生命を尊重し、規範意識や思いやりの心を醸成するには、道徳の時間を使つていくことにつながつていくことである。このことが友情を深めていくことにつながつていくことをねらいとするが、区教委の見解を伺う。

【道徳授業の活用でいじめ予防を強化していく。】

【問】健康寿命を延ばすには、運動や食事等、日常生活の中で進めていくことが大切である。また、各年代の体力に合わせた取り組みにしていく必要もある。日頃からこうした取り組みに関しては年代別の事業展開が必要となるがどうか。

【区長】「運動や食事等、日常生活においても、今後とも施策を充実させたいと考えている。

【問】健康寿命を延ばすには、運動や食事等、日常生活の中で進めていくことが大切である。また、各年代の体力に合わせた取り組みにしていく必要もある。日頃からこうした取り組みに関しては年代別の事業展開が必要となるがどうか。